

令和5年度事業計画書 <デイサービスセンターいこい・ほほえみ>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：利用者、家族から親しまれ、頼られる施設づくり

1. 本人の思いに寄り添い、その人らしく生き生きと安心して過ごせるよう支援する

- ①利用者一人一人の認知症状を理解し、その原因や背景をアセスメントすることで本人に寄り添ったケアを実践する。
- ②日々のチームミーティングを通して、利用者の心身状態の変化など細かな情報を共有し、利用者が混乱しないよう職員間で統一したケアを行う。
- ③自信や生きがいに繋がられるよう一人一人の残存能力を引き出し、各専門職と連携を図りながら多方面からアプローチする。

2. 利用者の定着を図り、稼働率アップを目指す

- ①一般型デイと常時情報交換を行い、一般型デイの利用者の中で認知症があり対応が困難な方など該当する方がいれば、ケアマネや家族に相談しながら認知症型デイへの移行を勧める。
- ②ケアマネとの連携を密にし、本人や家族のニーズに柔軟に対応できるよう、迅速に細かな情報を発信することで信頼の獲得に努める。また、空き状況や事業所の特性を随時報告していく。

3. 地域にアピールする機会の促進

- ①新型コロナウイルス他感染症の発生状況を常に把握しながら、できる限り「あいあい祭り」など地域交流の場に参加し、地域に貢献できるよう積極的に事業所の広報活動に取り組む。
- ②引き続き「運営推進会議」への参加を通して、地域の方々と交流を図るとともに、事業所の活動内容など写真を交えながらわかりやすく紹介し、地域ニーズの課題や把握に努める。